

令和7年度 水稲病害虫発生状況（通年）

1. 主要な病害虫の発生の概要

●いもち病

穂いもちの発生は場割合は、会津で平年より高かったが、県全体では平年よりやや低かった。

●紋枯病

発生は場割合は、県全体で平年より高かった。

●斑点米カメムシ類

水田畦畔での発生程度は、7月上旬に県全体で平年より高かったため、7月16日付けて注意報を発表した。

2. 調査の概要

(1) 育苗期調査施設・箱数

中通り： 23 施設 ・ 92,779 箱

会 津： 10 施設 ・ 21,762 箱

浜通り： 8 施設 ・ 17,155 箱

(2) 巡回調査地点・ほ場数

中通り： 14 地点 ・ 112 ほ場

会 津： 9 地点 ・ 72 ほ場

浜通り： 8 地点 ・ 64 ほ場

(3) すくい取り調査地点数

中通り： 15 地点

会 津： 10 地点

浜通り： 9 地点

(4) 調査方法

育 苗 期 調 査： 1 施設当たり育苗ハウス4棟内の育苗箱を調査

巡 回 調 査： 1 ほ場当たり25株を畦畔から調査

すくい取り調査： 畦畔（6月下旬～7月下旬）または水田内（7月下旬～9月上旬）
で20回振りで実施

3. 病害

(1) 育苗期病害

ピシウム属、フザリウム属、トリコデルマ属による苗立枯病の発生が確認され、発生箱割合は、平年より高かった。ばか苗病は、温湯消毒を行った施設を中心に発生が確認され、発生箱割合は平年より高かった。もみ枯細菌病・苗立枯細菌病の発生箱割合は、平年より少なかった（図1）。

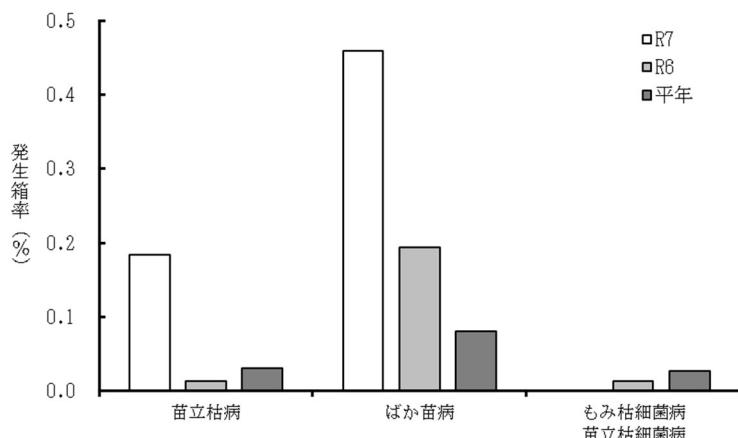


図1 育苗期病害の発生状況

(2) 葉いもち

補植用置苗の残存ほ場割合は、調査した6月上旬、下旬ともに平年より低く（図2、図3）、置苗での発病は、確認されなかった。

本田での初発確認は、7月中下旬だった（表1）。

8月上旬の発生ほ場割合は、中通り、会津で平年よりやや低くなり、浜通りでは発生は確認されなかった（図4、図5）。

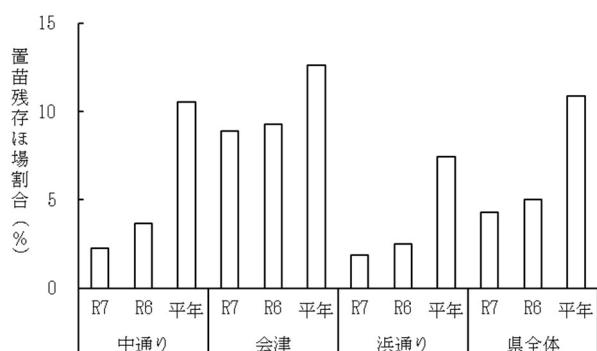


図2 置苗残存ほ場割合の推移
(6月上旬)

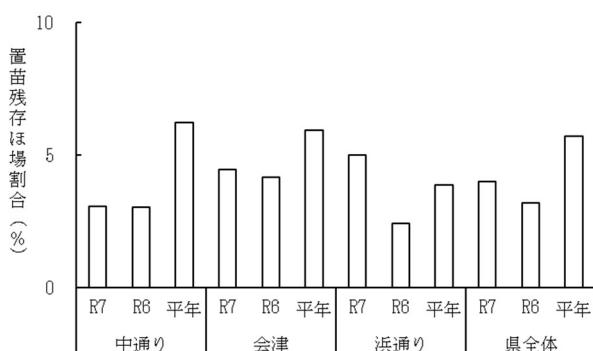


図3 置苗残存ほ場割合の推移
(6月下旬)

表1 葉いもち初発確認日の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	平年
中通り	7/1	7/5	7/12	8/2	8/6	7/6	7/1	7/20	7/21	8/5	7/18	7/17
会津	7/7	7/27	7/26	7/11	7/30	7/22	8/6	7/7	-	7/29	7/29	7/21
浜通り	8/4	7/4	7/20	7/6	7/9	7/29	7/2	7/21	7/4	7/25	7/25	7/15

注) - は8月上旬までに未確認を表す。

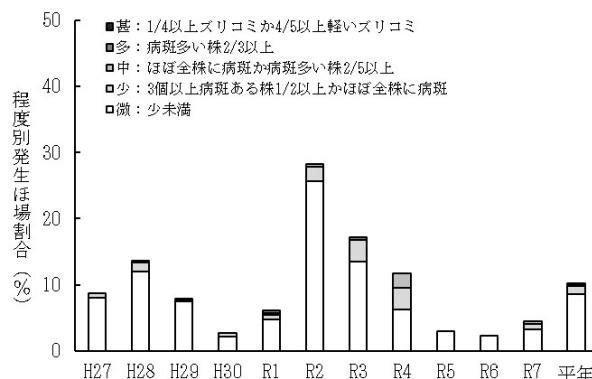


図4 葉いもちの発生状況の推移
(8月上旬、県全体)

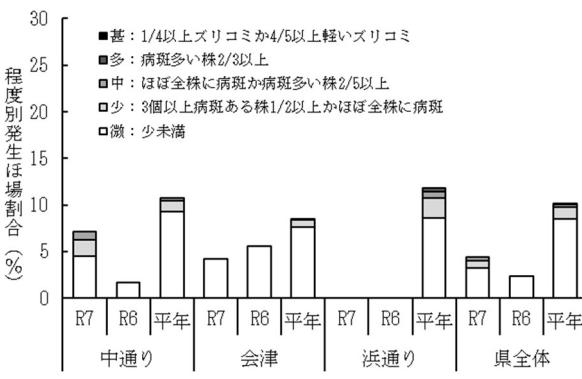


図5 葉いもちの発生状況
(8月上旬)

発病度の計算は、日本植物防疫協会の定める発生予察事業の調査実施基準に基づく。

(3) 穂いもち

初発確認日は、8月中下旬だった(表2)。

9月上旬の発生ほ場割合は、県全体で平年よりやや低かった(図6、図7)。

表2 穂いもちの初発確認日の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	平年
中通り	8/18	8/19	8/22	8/21	8/21	8/18	8/23	8/24	8/22	8/19	8/19	8/20
会津	8/19	8/24	8/24	8/22	9/13	8/17	8/30	8/19	8/24	8/22	8/28	8/24
浜通り	8/21	8/22	9/4	9/4	9/10	8/18	8/24	8/24	8/21	8/20	8/21	8/26

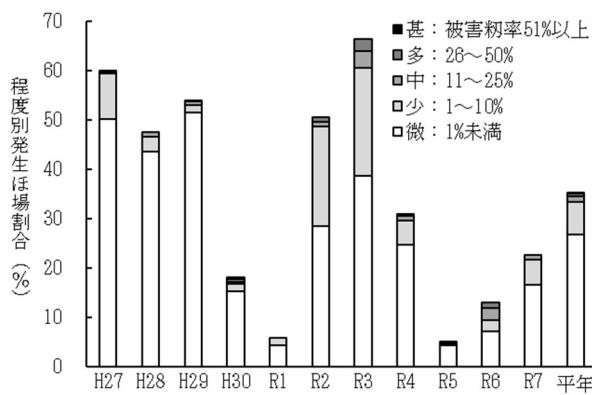


図6 穂いもちの発生状況の推移
(9月上旬、県全体)

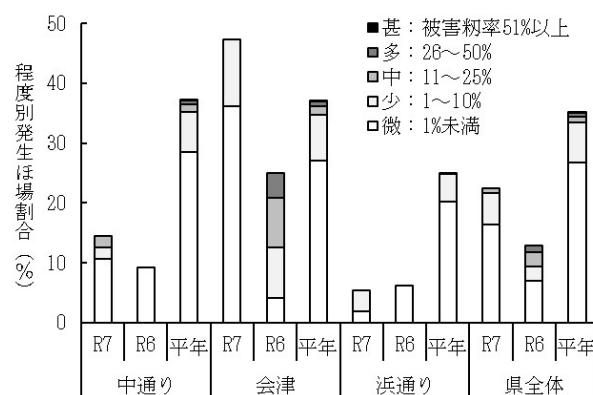


図7 穂いもちの発生状況 (9月上)

(4) 紋枯病

初発確認日は、7月下旬だった（表3）

8月下旬の発生場割合は、会津で平年より高く、中通り、浜通りで平年よりやや高かった（図8）。9月上旬は、会津で平年より高かった（図9）。

表3 紋枯病の初発確認日の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	平年
中通り	7/15	7/20	7/21	7/20	7/26	7/21	7/20	7/26	7/21	7/25	7/28	7/21
会津	7/15	7/27	7/26	7/25	7/25	7/22	8/6	7/26	7/27	7/30	7/29	7/26
浜通り	7/14	7/25	7/20	7/23	8/5	7/29	8/4	7/25	7/24	8/5	7/24	7/26

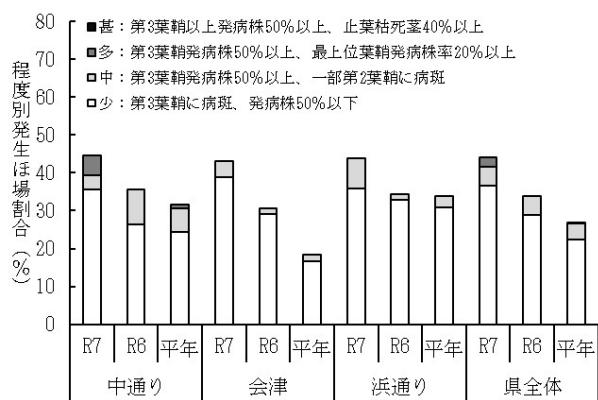


図8 紋枯病の発生状況（8月下旬）

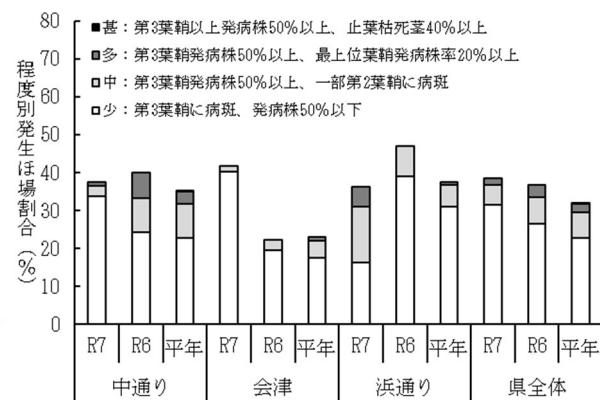


図9 紋枯病の発生状況（9月上旬）

(5) 稲こうじ病

9月上旬の発生場割合は、会津で平年より高く、中通り、浜通りで平年より低かった（図10）。

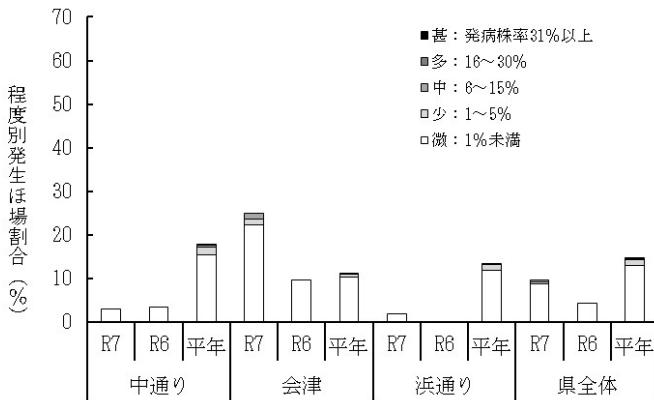


図10 稲こうじ病の発生状況（9月上旬）

(6) ごま葉枯病

9月上旬の発生場割合は、浜通りで平年よりやや高く、会津で平年より低く、中通りで平年並だった（図11）。

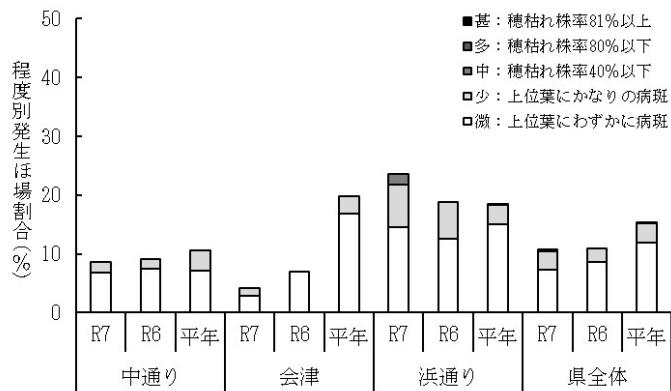


図11 ごま葉枯病の発生状況（9月上旬）

4. 虫害

(1) イネミズゾウムシ

5月下旬の発生場割合は、中通りで平年より高かった（図12）。

6月上旬の発生場割合は、全域でやや高いから高かった（図13）。

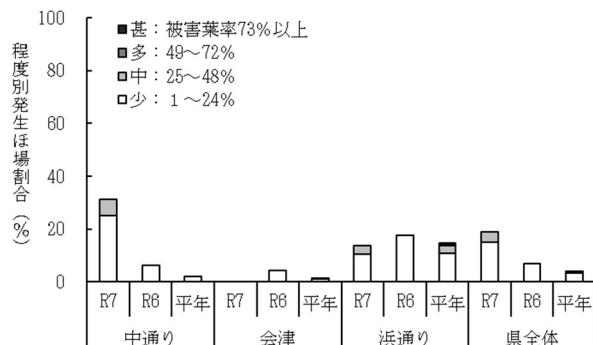


図12 イネミズゾウムシの発生状況
(5月下旬)

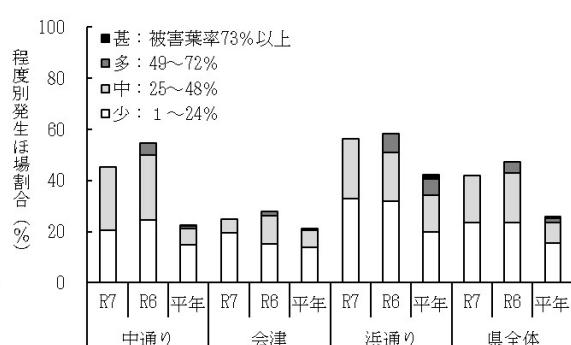


図13 イネミズゾウムシの発生状況
(6月上旬)

(2) イネドロオイムシ

6月上旬の調査では、ほ場への越冬成虫の侵入は確認されなかった（図14）。

6月下旬から幼虫及び新成虫の被害が会津、浜通りで確認され、発生ほ場割合は会津で平年より高かった（図15）。

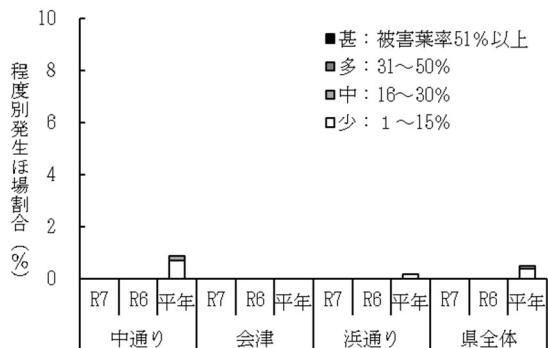


図14 イネドロオイムシの発生状況（6月上旬）

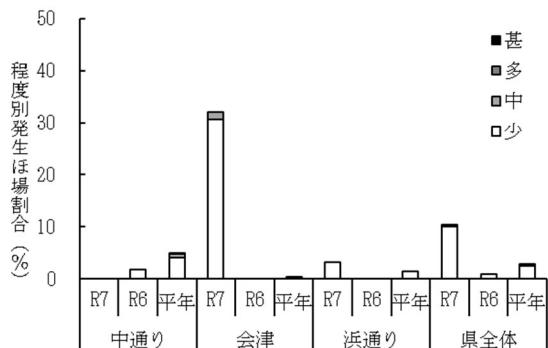


図15 イネドロオイムシの発生状況（6月下旬）

(3) イネヒメハモグリバエ

調査期間中の発生は、ほとんど確認されなかった。

(4) イネツトムシ（イチモンジセセリ）

幼虫による本田での被害は、ほとんど確認されなかった。

(5) イナゴ類

8月上旬の発生ほ場割合は、会津で平年並、中通り、浜通りで平年より低かった（図16）。

8月下旬の発生ほ場割合は、全域で平年よりやや低いかつた（図17）。

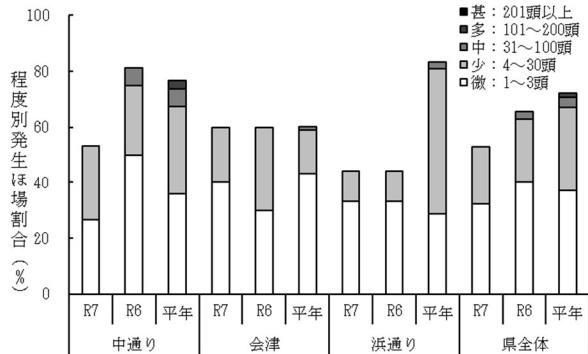


図16 イナゴ類の発生状況（水田内すくい取り調査）（8月上旬）

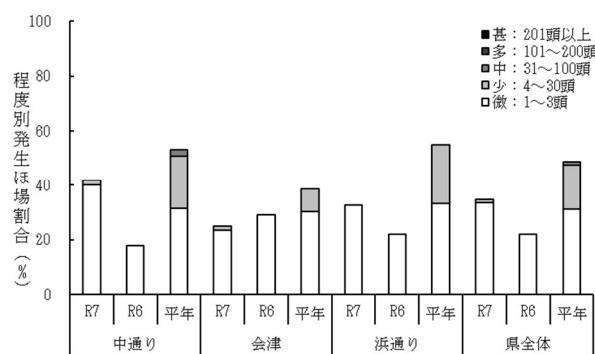


図17 イナゴ類の発生状況（水田内すくい取り調査）（8月下旬）

(6) フタオビコヤガ

見取り調査、すくい取り調査とともに、発生は確認されなかった。

(7) コブノメイガ

9月上旬の発生ほ場割合は、中通りで例年より低かった。会津、浜通りでは、発生は確認されなかった（図18）。

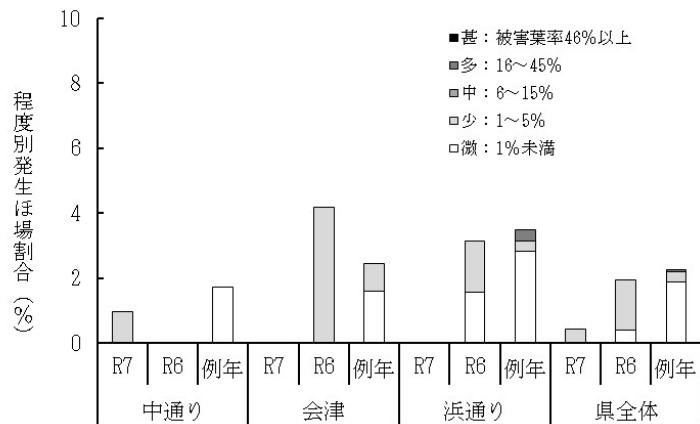


図18 コブノメイガの発生状況（9月上旬）

例年：過去4年平均

(8) ニカメイチュウ（ニカメイガ）

8月上旬の発生ほ場割合は、浜通りで平年より高く、会津で平年より低かった。中通りでは、発生が確認されなかった（図19）。

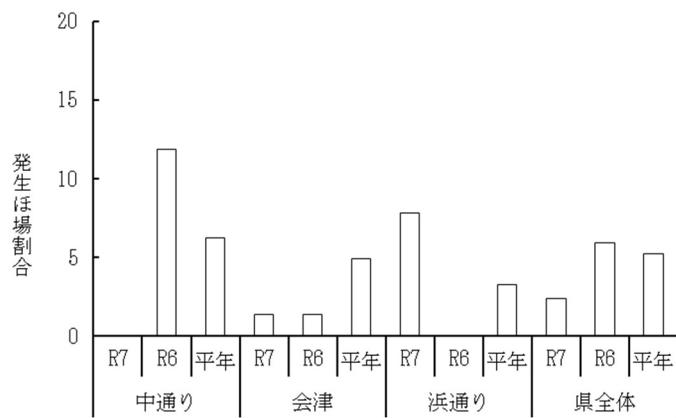


図19 ニカメイチュウの発生状況（8月上旬）

(9) 斑点米カメムシ類

7月上旬の畠畔すくい取り調査では、発生地点割合は全域で平年並から高く、発生程度も高かったことから、7月16日付けで注意報を発表した（図20）。

8月下旬の水田内すくい取り調査では、発生地点割合は、中通りで平年並、会津、浜通りで低かった（図21）。

発生種別では、畠畔、水田内共に全域でカスミカメムシ類、ホソハリカメムシ、中通り、浜通りの一部でクモヘリカメムシが捕獲された（図22、図23）。また、浜通りの一部地域でイネカメムシが捕獲された（図22）。

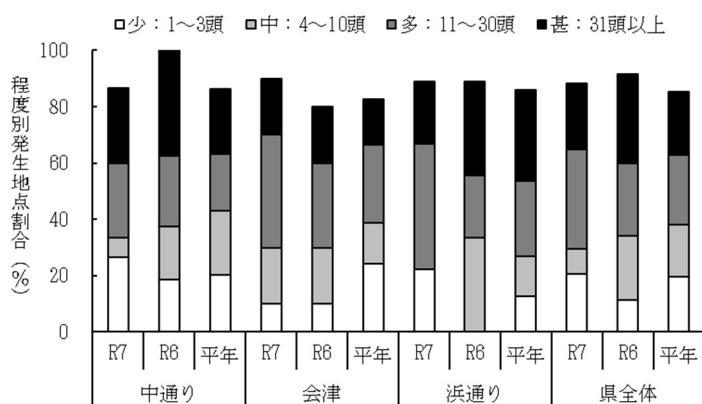


図20 畠畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生状況（7月上旬）

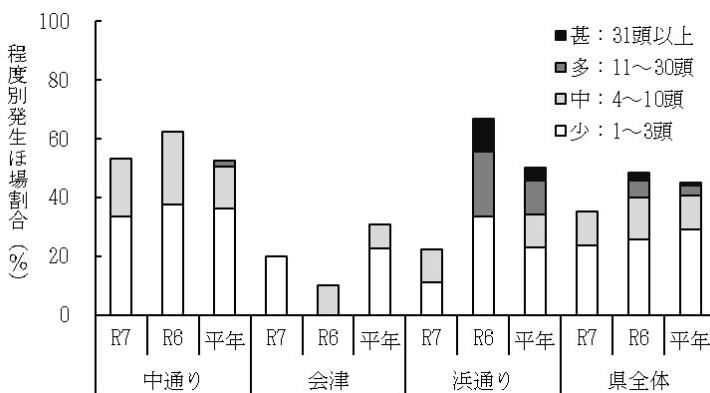


図21 水田内すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生状況（8月下旬）

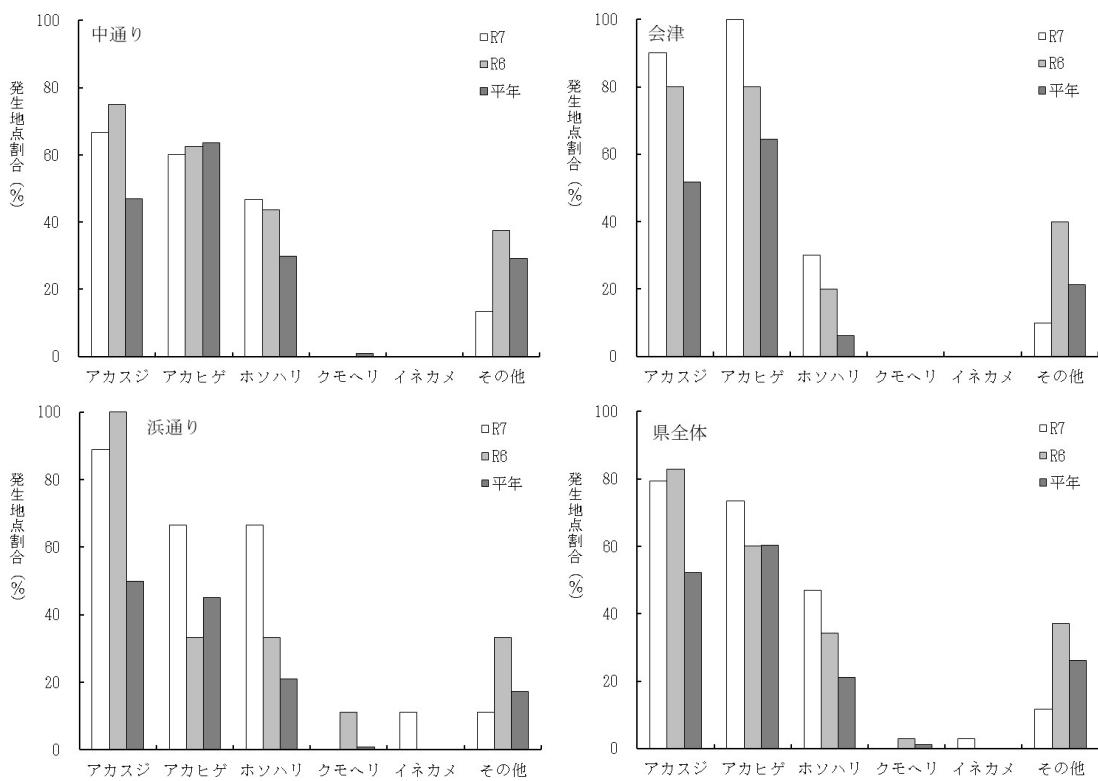


図22 畦畔すくい取り調査による斑点米カムシ類の種別発生状況（7月上旬）

注) アカスジ: アカスジカスミカメ、アカヒゲ: アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリ: ホソハリカムシ、
クモヘリ: クモヘリカムシ、イネカメ: イネカムシの略 以下同じ

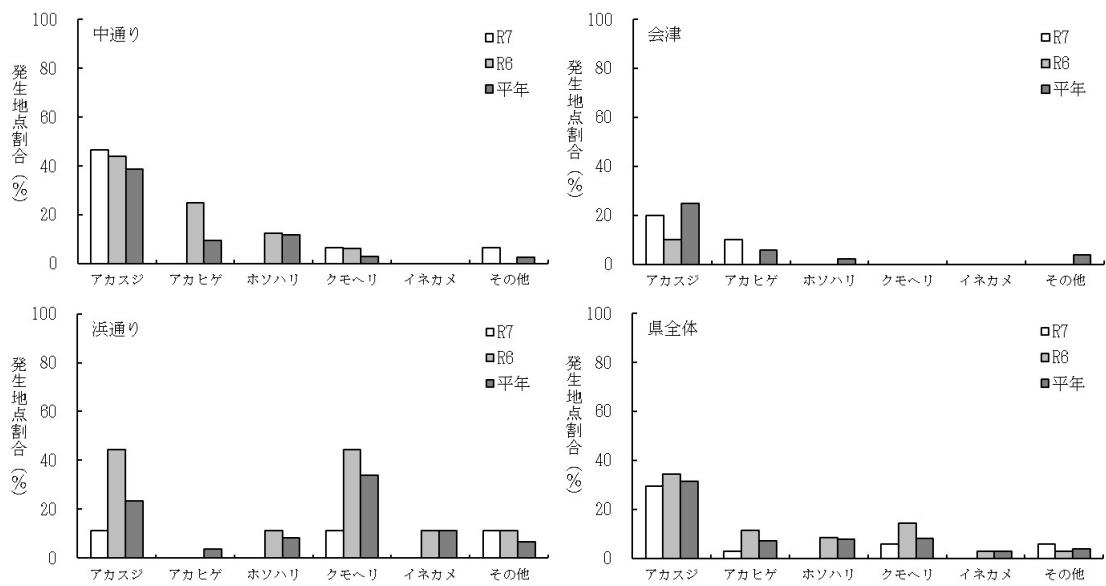


図23 水田内すくい取り調査による斑点米カムシ類の種別発生状況（8月下旬）